

第6期(第1回)新津地区公民館運営審議会

次 第

日時：平成29年6月23日(金)午後3:00～
会場：新津地区公民館 304 研修室

1 開 会

2 正副議長の選任について

3 議事・報告事項

(1) 平成28年度事業報告について

① 新津地区公民館 [資料1-1]

② 小須戸地区公民館 [資料1-2]

※ 事業評価シート

① 新津地区公民館 [資料1-3]

② 小須戸地区公民館 [資料1-4]

(2) 平成29年度事業計画(案)について

※ 平成29年度新潟市公民館事業の基本方針 [資料2]

① 新津地区公民館 [資料3-1]

② 小須戸地区公民館 [資料3-2]

(3) その他

4 閉 会

平成28年度事業報告

新津地区公民館		*印は当初事業計画にはなかった事業です											
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	連 携				備 考
									学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)	
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	コミュニティ活動活性化支援事業 「金津ゴスペルナイト」, 「スクールコンサート」	地域の特色を活かした事業を行うことで、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	総合	5	午後・夜間	161	242	○	○	○		ゴスペルナイト観覧:60人 スクールコンサート:61人
	*2	コミュニティ活動活性化支援事業 「荻川 インターネット・スマホ活用講演会」	地域の特色を活かした事業を行うことで、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	総合	1	夜間	37	37	○	○	○		荻川コミ協 荻川地区小中学校
	3	コミュニティコーディネーター育成事業 「あきは未来塾 コミュニティ・ビジネス入門講座」	地域コミュニティ協議会等と連携しながら、地域の課題解決や地域をつなぐ人材育成につなげる。	総合	3	午後	28	69			○		秋葉区内コミ協 秋葉区地域課, 産業振興課
	*4	おはよう朝ごはん料理講習会 (早寝 早起き 朝ごはん)	コミュニティ協議会など地域団体との連携による料理講習会の実施により、朝ごはんの大切さを学ぶとともに、地域のつながりを支援する。	総合	2	午前・午後	90	90	○	○	○		一小(大人17人, 子ども30人) 二小(大人25人, 子ども18人)
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	5	地域交流事業	地域交流事業を各種地域団体との協働により実施することで、地域のつながりを促進し人材の育成につなげる。	総合	10	午前・午後	285	285	○	○	○		三小, 小合地区小中, 五中, 金津中, 区社協など
	6	GIP集会	中学校「いじめ防止」集会に地域住民からも参加してもらい、地域をあげて課題解決を図るとともに、世代間交流による地域の活性化を推進する。	総合	1	午後	544	544	○	○	○		五中, 校区コミ協 中学生440人, 小学生28人, 地域33人
	*7	プレママ学級 「命の授業」	小学校との共催により児童とプレママ学級参加者がともに命の大切さについて学ぶ機会とする。	総合	1	午前	35	35	○	○			新津第三小学校 ママ:3人・児童:32人
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	8	プレママ学級 (安産教室特別編)	家庭教育の重要性を学ぶ。子育ての孤立を防ぎ、自分らしい子育てを見つける。(仲間づくりの機会)	成人	5	午前	33	33					秋葉区健康福祉課
	9	乳児家庭教育学習 (ゆりかご学級)	家庭教育の重要性を学ぶ。保護者と地域が共に子育てをする大切さを知る。(仲間づくりの機会)	成人	5	午前	19	88					文集づくり
	10	幼児期家庭教育学級 (ほかほか学級)	子どもの心身の発達、自我の芽生えを理解し、子育ての不安や悩みを話し合う。(仲間づくりの機会)	成人	8	午前	43	133					企画委員:7人
	11	児童期家庭教育学級 (これから自分探しをするキミへ)	子どもの心と体の発達を理解し、同世代の子どもを持つ親同士の交流を図る。(仲間づくりの機会)	成人	5	午前	18	65				2	
	12	子育てサロン (このゆびとまれ)	親子のつながれる居場所づくり, 情報交換	総合	22	午前	288	288				1	サポート(運営委員・活 協員・読み聞かせ)
	13	家庭教育講演会	秋葉区幼稚園PTA連合会との共催による講演会	総合	1	午前	55	55					秋葉区幼稚園PTA連合会
4. 青少年の生きる力を育む事業	14	チャレンジ あきは体験隊 「ロボットで遊ボット」	子どもたちの様々な体験から、集団活動をつうじた課題解決能力を身につける機会とする。	少年	1	午前・午後	20	20					長岡工業高等専門学校
	15	子ども体験教室(夏休み) 「ウルトラウインド(空気砲)」	子どもたちの様々な体験から、創作する喜びや集団活動の喜びを感じる機会とする。	少年	1	午前	16	15					長岡工業高等専門学校
	*16	子ども体験教室(春休み) 「吹き矢」	子どもたちの様々な体験から、創作する喜びや集団活動の喜びを感じる機会とする。	少年	1	午前	15	15			○		阿賀浦コミ協等
	17	秋葉区一斉クリーン作戦	地域・家族の協働による美化活動を行い、併せて青少年の健全育成を図る。	総合	1	午前	8,920	8,920	○		○		区育成協, 小中学校, コミ協, 民間業者
	18	秋葉区青少年健全育成・人権啓発・安心 安全社会推進大会	子どもたちの健全育成と人権を大切にすることを醸成し、住みよい地域の創造を図る。	総合	1	午後	320	320	○		○		区育成協, 人権擁護委員会, 保護司会, 小中学校
	19	子ども「創造塾」(区づくり事業)	集団活動や体験教室により子ども達が自ら考え創造する力を育む。	総合	17	午前・午後	547	547	○	○	○		金津中, 一小, 三小, 結小, 新聞小, 薬科大, 地元ボラ
	20	あきは自然観察会(夏休み編)	昆虫や植物などの観察から、自然への関心を深める機会とする。	少年	1	午前・午後	18	18				1	企画委員7人
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	21	あきは自然観察会(春夏編)	にいつ丘陵などの植物を観察し、里山について学ぶとともに、参加者同士の交流を図り仲間づくりにつなげる。	総合	3	午前	19	46					企画委員7人
	*22	あきは自然観察会(秋編)	にいつ丘陵などの植物を観察し、里山について学ぶとともに、参加者同士の交流を図り仲間づくりにつなげる。	総合	1	午前	14	14					企画委員4人
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	23	もっと★きらめきライフ!	現代的課題の発掘と課題解決に取組む意識を育てる。	成人	1	夜間	23	53					
	24	シニアの健康塾 「わたしにピッタリ健康法」	人との関わりをねらいとし、自分の体を知り、健康の再認識をはかり、これからの生きがいを見つける。	成人	5	午前	18	76					

平成28年度事業報告

新津地区公民館		*印は当初事業計画にはなかった事業です											
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	連 携				備 考
									学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)	
7.その他	25	秋葉区の学び 「秋葉さんぽと初めての詩歌あそび(入門編)」	秋葉区の「宝」を様々な視点から学ぶことで、地域の良さを知り愛着を感じられる機会を提供する。	総合	4	午前	9	24					新津文芸協会
	26	にいつ元気が出る商店街 「まち中マエストロに学ぶくらしの知恵」	新津商店街関係者を講師に、人・店・品の魅力に触れながら、快適でクオリティの高い暮らしづくりに役立つ知識、知恵、技を学ぶ。	総合	4	夜間	19	71			○	2	新津本町・新光商店街企画委員4人
	27	Akiha de 夜会 「オトナの手習い講座」	秋葉区に居住、又は勤務する若者の交流の場を設け、仲間づくりを図る機会とし、今後の独自の活動につなげる。	成人	4	夜間	12	37				1	企画委員4人
	28	秋葉区芸能祭 (おどりと民謡・古典芸能)	様々な芸能部門の成果発表の機会にするとともに、参加者、観覧者の交流を図る。(舞踊、民謡団体、古典芸能団体の発表会)	総合	1	午前・午後	208	257					参: 演者数 延: 観覧者数
	29	第10号「文芸あきは」発刊	地域における文芸創作活動の活性化をはかるとともに、創造性豊かな潤いある心を養い、地域文化の向上を目指す。(7部門)	総合	1	—	101	115					新津文芸協会 参: 投稿者, 延: 作品数
	30	秋葉区文芸区民大会	区民の文芸創作活動の発表の場を提供する。 (文芸講演会, 川柳, 俳句, 短歌の発表会の実施)	総合	4	午前・午後	134	134					新津文芸協会
	31	秋葉区成人式	新成人の門出を祝う。	成人	1	午後	420	420					秋葉区地域課
	32	第10回秋葉区美術展覧会	区民の創作活動の発表の場所を提供する。	総合	9	午前・午後	266	2,667					運営委員会 参: 出品者数, 延: 入場者数
	33	あきは日本語教室連携事業 (ボランティア養成・発表・地域交流・異文化理解)	公民館団体との共催により日本語指導ボランティアの養成や国際理解講座を行う。また、教室参加者と地域の国際交流を図る。	総合	5	午後	106	106					公民館登録団体 あきは日本語教室
	34	秋葉区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る。	総合	1	午前・午後	100	100					大会実行委員会 (大人87人, 子ども13人)
35	学習室解放事業	公民館研修室を学習室として、小学生、中学生、高校生、大学生に開放する。	少年	41	午前・午後	200	200						
合 計				—	177	—	13,141	16,139	9	7	11	7	

平成28年度事業報告

重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	対象	回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	連携				特記事項
									学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)	
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	にいがたボケ1スリッパ卓球大会	スリッパ卓球による新潟県大会	総合	1	午前・午後	98	98			○	2	実行委員会・スポーツ振興会・スリッパ卓球クラブ 小須戸コミ協・山の手コミ協
	2	ふれあいキャンドルナイトinこすど	環境問題をみんなで考えるきっかけづくり	総合		夜間							中止
	3	冬でも花いっぱい運動	花の植栽作業による地域団体の連携強化	総合	1	午前	53	53			○		山の手コミ協・矢代田保育園
	4	こすどクッキング教室	食育・料理の基本を学ぶ(男の料理, おはよう朝ごはん)	総合	3	午前	35	47			○		小須戸コミ協・食生活改善推進委員
	5	太極舞	穏やかな運動で健康の増進と仲間作り	成人	4	夜間	29	108			○		小須戸コミ協
	6	語り継ぐ小須戸の文化	地域の魅力を探訪して再発見する	成人	3	午前	22	53			○	1	小須戸コミ協・山の手コミ協
	7	世代間交流事業	祖父母と孫で伝統行事を学び共通の体験をする(門松づくり)	総合	1	午前	28	28		○	○	1	小須戸コミ協・山の手コミ協
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	8	新津南高校開放講座	土曜日、新津南高校で教諭による教養講座や実技指導	成人	5	午前	18	83	○			1	新津南高校
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	9	家庭教育講演会	園児・学童期の保護者を対象にした家庭教育講演会	成人	2	午前・午後	35	35	○	○			矢代田小学校・小須戸幼稚園
4. 青少年の生きる力を育む事業	10	こども「創造塾」(区づくり事業)	集団活動や体験教室により子どもたちが自ら考え創造する力を育む	青少年	6	午前	355	355	○	○		2	矢代田小学校・小須戸小学校
	11	ツリークライミング体験	長期の休みを利用した子どもの体験学習	青少年	1	午前	19	19		○		3	矢代田小学校・小須戸小学校
	12	夏休み勉強部屋オアシス	小中高校生対象の夏休み期間中での勉強部屋	青少年	10	午前	48	48				1	小須戸まちづくりセンター
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	13	高齢者生きがい講座	生活に潤いと楽しみを感じてもらう行事を開催	高齢者	1	午後	41	41			○		小須戸高齢者クラブ連合会
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	14	陶芸&苔玉体験教室	花と緑の小須戸地域。苔玉作り	成人	3	午前	15	44				1	楽陶会
	15	プチ書道教室	筆字での書き方を学ぶ	成人	2	夜間	20	37					
	16	はじめての絵手紙	下手でも誰かに喜んでもらいたい、そんな優しい気持ちを伝える	成人	3	午前	16	45				1	
7. その他	17	体験！ニュースポーツ入門	三世代で様々なスポーツに挑戦	総合	5	午前・夜間	98	124				1	スポーツ振興会・卓球クラブ
	18	小須戸地区市民展	地域住民による作品展示	総合	2	午前・午後・夜間	710	710	○		○	8	小須戸文化協会
	19	小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表会	総合	1	午前・午後	480	480	○		○		小須戸文化協会
	20	小須戸地区囲碁・将棋大会	市民参加による囲碁将棋大会	総合	1	午前・午後	22	22					小須戸囲碁将棋愛好会
	21	こすど地区公民館報の発行	公民館や地域の明るい話題や情報を紹介	総合	10	午前	4	48					公民館報編集委員
	*22	思い出をデジタル化しよう	パソコンで写真やフィルムをスキャンし、デジタル化してプリントする方法を学ぶ	成人	5	午前	10	39				1	
合計				—	70	—	2156	2517	5	4	9	23	

* 印は当初事業計画になかった事業です

平成28年度事業評価シート(新津地区公民館)

総事業数(35) 1. コミュニティ(4) 2. 学社民(3) 3. 家庭教育(6) 4. 青少年(7) 5. 高齢者(2) 6. 現代的課題(2) 7. その他(11)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	4 事業 ◆金津ゴスペルコンサート ◆荻川インターネット・スマホ活用講演会 ◆コミュニティビジネス入門編 ◆早寝早起き朝ごはん				3 事業 ◆地域交流事業 ◆GIP集会 ◆命の授業				6 事業 ◆家庭教育学級(ﾌﾟﾚﾏ・乳児期・幼児期①②・児童期) ◆子育てサロン ◆家庭教育講演会				7 事業 ◆あきは体験隊 ◆ウルトラインド ◆吹き矢体験 ◆クリーン作戦 ◆青少年健全育成・人権啓発・安心安全社会推進大会 ◆こども「創造塾」 ◆あきは自然観察会(子ども編)			
ねらい	コミュニティ協議会や学校と連携して事業を実施することで地域との協働を推進する。また、地域の課題解決に関する事業を実施することで地域力の向上につなげる。				学校・地域・公民館が協働で事業を実施することで、地域連携を推進し、地域全体の教育力向上につなげる。				家庭教育学級の実施や親子の居場所を開設することで、親の学びや仲間づくりを支援し、子育て期の不安や悩みの軽減を図る。				地域におけるボランティア活動や各種体験活動を実施することで、子どもの社会的成長を支援するとともに「地域で子どもを育てる」体制、意識の醸成を図る。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	—	1	ゴスペルサークルが結成され、地元コミセンを拠点に活動。	サークル結成数	—	—		サークル結成数	1	1	ゆりかご学級受講者がサークルを結成	サークル結成数	—	—	
	企画委員希望者数		8人		企画委員希望者数		0人		企画委員希望者数		16人		企画委員希望者数		0人	
	受講者の満足度(平均値)	80%	95%		受講者の満足度(平均値)	80%	—		受講者の満足度(平均値)	80%	98.8%	家庭教育講演会は93%で、その他は100%の満足度。(サロンはアンケート未実施)	受講者の満足度(平均値)	80%	98.8%	
	受講者の気づき(平均値)	80%	92%		受講者の気づき(平均値)	80%	—		受講者の気づき(平均値)	80%	66%		受講者の気づき(平均値)	80%	—	
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			地域交流事業における新たな学校との連携 小合地区小中学校	その他成果(品)及びその活用等			家庭教育学級と子育てサロン連携	その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	住民の繋がりが地域課題への取組みを支援するうえで必要である。		必要性(平均値)	3.3	学社民を推進するため、地域や学校との協働事業は必要である。		必要性(平均値)	3.4	核家族化や家族形態の多様化に伴い、家庭教育力の向上と仲間づくりの場として必要である。		必要性(平均値)	4	子どもの体験活動や他者との関わりからの学びは、これから成長するうえで非常に重要。	
	有効性(平均値)	4	関係者との企画、実施に向けた調整は今後も必要である。		有効性(平均値)	3.7	関係者との企画、実施に向けた調整は今後も必要である。		有効性(平均値)	3.3	誰もが気軽に参加したいと思えるよう、企画・実施・広報など、今後も検討は必要である。		有効性(平均値)	3.3	子どもの満足度も高く、創造力を伸ばすうえで有効。	
	効率性(平均値)	4	学校等との協働により効率的な運営であった。		効率性(平均値)	3.7	関係機関等との協働により効率的な運営であった。		効率性(平均値)	3.7	母子分離による講座実施は、効率的な学習が行える。		効率性(平均値)	3.6	関係機関との調整により効率的な運営であった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域コミュニティの活性化には、その地域の特性に合った事業実施が必要であり、地域の要望等の間取りが重要となる。より効果的な事業を実施できるよう、引き続きコミ協や学校との意見交換を密にしていく必要がある。				新たな学校との連携を増やすため、事業の目的や効果について理解してもらえるよう、さらに学校との意見交換を進めていく必要がある。				受講しなくても時間的に参加できない人のために、土日や夜間の開催なども、今後検討していく必要がある。				長期の継続事業が多くなっているが、薬科大学の学生と連携したプログラムなど新たな企画により、さらに魅力ある体験事業で、子どもたちの創造力を向上させるよう検討を行う必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
	1	3			1	2				6				7		
	コミュニティコーディネーターの育成は、コミュニティ活動活性化のための重要な事業といえる。引き続きコミュニティビジネス実践講座のほか、各地域のニーズにあった活性化事業を検討・実施してほしい。				公民館出前型講座として各学校で実施している地域交流事業は、まだ一部の学校での実施となっている。学校を地域の学びの拠点とし活力ある地域づくりのために、今後も各学校の要望等を聞きながら、積極的に事業を進めてほしい。				子どもの心身の発達に関する理解や保護者の不安解消、仲間作りなどの支援は非常に重要な分野であり、引き続き公民館の重点事業として、家庭教育学級に取り組んでもらいたい。また、核家族化や一人親世帯の増加など家族形態が多様化するなかで、公民館が本来ターゲットにしている人から講座に参加してもらえるよう、工夫をしながら実施してほしい。				今年度、新たに始めたプログラムもあり、若干充実した内容となった。既存の体験事業の内容の見直しなども検討し、引き続き進めてほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2 事業 ◆あきは自然観察会(春夏編) ◆あきは自然観察会(秋編)				2 事業 ◆もっと★きらめきライフ ◆シニアの健康塾			
ねらい	自然や伝統、文化など地域の特性や独自の課題を学ぶなど、高齢者の学習機会を充実し、地域活動などに参画していくための主体的な学習活動を支援する。				暮らし、生きがい(趣味)、健康等をテーマに講座を実施することで、これからの生きがいづくりや仲間づくりの場を提供する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	1	0	植物園友の会に所属しているなど、既存に満足している。	サークル結成数	-	-	
	企画委員希望者数	/	5人	講座期間中の働きかけや委員の継続など。	企画委員希望者数	/	8人	事業の実施内容において参加者の主体的な関わりが存在が大きい。
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	リピーターはもちろん、新規の満足度も高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	
	受講者の気づき(平均値)	80%	59%	学習意欲はあるが、グループ化や他者を巻き込むまでではない。	受講者の気づき(平均値)	80%	70%	参加者の気持ちをとらえることが出来た運営であった。
その他成果(品)及びその活用等	/	/		その他成果(品)及びその活用等	/	/		
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	2.5	自然観察に限らず、シニアの学習意欲を高める社会参加につなげる講座は必要。		必要性(平均値)	4	テーマの設定が難しい分野だが、地域特性や時節に応じた講座は必要。	
	有効性(平均値)	2.5	企画委員との企画実施により、講師以外との学び合いがもてた。		有効性(平均値)	4	現代女性の生き方やシニアに関心の高い健康について取り上げ、満足度も高く有効。	
	効率性(平均値)	3.5	講師、企画委員、職員の役割は適当であった。		効率性(平均値)	4	講師、企画委員、職員の役割は適当であった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自然観察会は、長年継続してきた人気の高い講座ではあるが、シニアの学習意欲を高め社会参加につながるような内容について、再検討が必要である。				今後も、地域や住民がどのような課題を抱えているのかを常に意識し、講座を作りあげていくことが必要である。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				2		
	今年度はキノコ観察を取り入れ、いつもとは違った視点、講師により実施した。これまで依頼してきた講師である植物研究所長も高齢になってきているため、受講者の活用や内容の見直しなど徐々に進めてほしい。				現代的課題は、社会状況の変化に応じ流動的なものであるため、テーマの設定が非常に難しい分野であるが、公共性・社会性、現代性・緊急性の視点も踏まえて今後も実施してほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

秋葉区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成28年度事業評価シート(小須戸地区公民館)

総事業数(21) 1. コミュニティ(6) 2. 学社民(1) 3. 家庭教育(1) 4. 青少年(3) 5. 高齢者(1) 6. 現代的課題(3) 7. その他(6)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	6事業 <small>ボケ1, 冬でも花, クッキング, 太極舞, 小須戸の文化, 世代間</small>				1事業 <small>新津南高校開放講座</small>				1事業 <small>家庭教育講演会</small>				3事業 <small>こども創造塾, ツリークライミング, オアシス</small>							
ねらい	地域についての学習や交流を通じて、地域の一体感を醸成し、地域の活性化を図る。また、地域の人々を繋げていく人を育成する。				高校が有する人的・物的専門的教育機能を地域社会に開放し、地域住民に専門的知識、技術及び教育に関する学習の機会を提供する。				子育て中の母親への支援、子育ての知識や情報などを提供すること、不安や負担を軽減するとともに参加者同士の仲間づくりを図る。				さまざまな体験活動や他者との関わりを通じて、青少年の生きる力を育む。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数		1	太極舞	サークル結成数		無		サークル結成数		無		サークル結成数		無					
	企画委員希望者数		11	クッキング教室2、太極舞5、小須戸の文化4	企画委員希望者数		1		企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	クッキング教室、太極舞、小須戸の文化、世代間	受講者の満足度(平均値)	80%	94%		受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%						
	受講者の気づき(平均値)	80%	68%	クッキング教室、太極舞、小須戸の文化	受講者の気づき(平均値)	80%	50%		受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%						
	その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等							
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	4	地域住民の交流促進や地域の文化・伝統を学ぶ必要性は高			必要性(平均値)	4	専門性の高いプログラムの必要性はある			必要性(平均値)	4	子どもの発達段階に応じた家庭教育は必要が高い			必要性(平均値)	3	自立心や協調性を学ぶことのできる事業の必要性は高い		
	有効性(平均値)	4	地元根差した地域づくりに有効であり参加者の満足度も高			有効性(平均値)	4	学校と地域住民の距離を縮めてくれる事業			有効性(平均値)	3	開催日が違っていたらもう少し参加者が増えたと思われる			有効性(平均値)	4	子どもたちの満足度は大変高い		
	効率性(平均値)	4	いずれの事業も労力・時間・事業費は適当だった			効率性(平均値)	4	材料等の実費代はやむを得ないと思う			効率性(平均値)	4	母子分離でしっかりと話を聞いてもらった			効率性(平均値)	4	いずれの事業も労力・時間・費用は適当だった		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	世代間交流事業の「門松づくり」は、事業名のとおり親子で、祖父母と孫を対象としたものであるが、定員に余裕があるのなら単独での参加も可としたらどうか。				これまでに色々と試行錯誤し、現在の形に落ち着いたこと、また参加者アンケートでも特に要望がないことからこのままで良いと思う。				学校の協力を得ての講演会なので、開催時期や曜日が必ずしも希望どおりにならない。もっと協議が必要。				「ツリークライミング」は受託者のNPO法人アキハロハスが今年度で当該事業を終了することから、代わりの事業を検討する必要がある。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		5		1		1				1				2			1			
評価区分	<コメント> 実行委員会方式となった「スリッパ卓球大会」であるが、二年目で早くも定着してきていることは評価に値する。				<コメント> 講座開設して30年になるが、すっかり地元で定着している。また、学習意欲の高い方が多くニーズは高い。				<コメント> 平日開催の家庭教育学級に参加できない方たちが、参加しやすい形を考えての講演会形式であったが、参加者からは好評を得ている。				<コメント> 屋外活動の事業の場合、雨天時のプログラムをしっかりと考えておく必要がある。							
	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止																

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	1事業 高齢者生きがい講座				3事業 陶芸&苔玉, プチ書道, 絵手紙			
ねらい	超高齢社会を見据え、高齢者に学習機会を提供するとともに、孤独になりがちな高齢者の積極的な社会参加を支援する。				日々の生活に潤いと楽しみをもたらすよう、生きがいづくりや仲間づくりの場・機会を提供する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数		無		サークル結成数		無	
	企画委員希望者数				企画委員希望者数		11	陶芸&苔玉2, プチ書道5, 絵手紙4
	受講者の満足度(平均値)	80%			受講者の満足度(平均値)	80%	100%	陶芸&苔玉, プチ書道, 絵手紙
	受講者の気づき(平均値)	80%			受講者の気づき(平均値)	80%	65%	陶芸&苔玉, プチ書道, 絵手紙
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等				
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	来たるべき高齢化社会を迎えて必要性は高い		必要性(平均値)	4	地域住民の要望が多く、必要性は高い	
	有効性(平均値)	4	高齢者の安心安全な生活な役立つ内容であった		有効性(平均値)	3	充実した講座内容であり、満足度は高い	
	効率性(平均値)	3	これ以上のコスト削減は難しい		効率性(平均値)	4	参加者の実費負担妥当な額であった	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	単に「話を聴く」から「実行する」に意識を変えてもらうことが出来れば理想だが、現実的には難しい。				「プチ書道」は年末の夜間開催で人気が高い事業であり、参加希望者も定員を大きく超えていることから、二期に分けての開催などを検討する必要がある。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				3		
	<コメント> 参加者の年齢や身体的状況を見ると現状のままではやむを得ないと思う。笑いや楽しい気分になるようなものの方が適していると考えます。				<コメント> 参加者からは大変好評を得ている事業であるが、内容や実施時期など良く検討が必要。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成29年度 新潟市公民館事業の基本方針

1 はじめに

新潟市は、新潟市教育の大綱（対象期間：平成27年度～31年度）で、目指す市民の姿を「生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民」とし、取り組みの方針に「学・社・民の融合による教育の推進」を掲げました。また、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」（計画期間：平成27年度～34年度）では、目指す都市像の一つである「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を実現するために「学・社・民の融合による教育を推進するまち」を政策の一つに位置付けています。

新潟市教育委員会は平成27年3月、新潟市教育ビジョン第3期実施計画を策定し、生涯学習の目指す方向を、「公民館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成」と「現代的・社会的課題やライフステージなど一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」と定めています。

新潟市公民館は平成22年9月に「地域に出かけ、住民と一緒に考え、地域の絆づくりを支援する公民館」を宣言しました。

人口減少、少子・超高齢社会を迎え、子どもをはじめ高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの必要性が高まっています。このような中、これからの公民館は、単に学ぶ場だけではなく、地域課題や生活課題の把握に努め、これまで以上に地域に寄り添い、地域づくり・人づくりに資する事業を展開することが重要となります。

2 基本方針

(1) 学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化

市民と地域が、学びを通じてつながりを深め、地域課題や社会的課題に取り組む人材を育成し、地域に絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

(2) 学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実

子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

3 基本施策

- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援
- (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりの推進
- (3) 家庭における教育力向上の支援
- (4) 青少年の生きる力を育む機会の充実
- (5) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
- (6) 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。

平成29年度事業計画(案)

資料3-1

新津地区公民館		Noの網掛けは新規事業です											
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	連 携				特記事項
									学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)	
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	コミュニティ活動活性化支援事業「コミュニティコンサート」	地域の特色を活かした事業を行うことで、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	午後	未定	○	○	○		
	2	コミュニティ活動活性化支援事業「コミュニティ講演会」	地域の特色を活かした事業を行うことで、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	夜間	未定	○	○	○		
	3	コミュニティ活動活性化支援事業「コミュニティ防災学習会」	地域の特色を活かした事業を行うことで、地域の再認識や人のつながり、絆を深める機会とする。	1	総合	1	午前	6月	○	○	○		阿賀浦コミ協 阿賀小学校
	4	秋葉区の学び	秋葉区の「宝」を様々な視点から学ぶことで、地域の良さを知り愛着を感じられる機会を提供する。	1	総合	4	午前	6, 7月			○		新津文芸協会
	5	にいつ元気が出る商店街「まち中マエストロに学ぶくらしの知恵」	新津商店街関係者を講師に、人・店・品の魅力に触れながら、快適でクオリティの高い暮らしづくりに役立つ知識、知恵、技を学ぶ。	1	総合	4	夜間	10, 11月			○		企画委員
	6	コミュニティコーディネーター育成事業 コミュニティビジネス(実践編)	地域コミュニティ協議会等と連携しながら、地域の課題解決や地域をつなぐ人材育成につなげる。	1	総合	3	午前・午後	未定			○		秋葉区内コミ協 秋葉区地域課, 産業振興課
	7	おはよう朝ごはん料理講習会(早寝 早起き 朝ごはん)	コミュニティ協議会など地域団体との連携による料理講習会の実施により、朝ごはんの大切さを学ぶとともに、地域のつながりを支援する。	1	総合		午前	随時	○	○	○		コミ協, 学校からの要望により実施
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	8	地域交流事業	地域交流事業を各種地域団体との協働により実施することで、地域のつながりを促進し人材の育成につなげる。	4	総合	4	午前	随時	○	○	○		区内各小・中学校
	9	GIP集会	中学校「いじめ防止問題」集会に地域住民からも参加してもらい、地域をあげての課題解決を図るとともに、世代間交流による地域の活性化を推進する。	1	総合	1	午後	未定	○	○	○		五中 校区コミュニティ協議会
	10	プレママ学級(命の授業)	小学校との共催により児童とプレママ学級参加者がともに命の大切さについて学ぶ機会とする。	1	総合	1	午前	随時	○	○	○		
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	11	プレママ学級(安産教室特別編)	家庭教育の重要性を学ぶ。子育ての孤立を防ぎ、自分らしい子育てを見つける。(仲間づくりの機会)	6	成人	6	午前	7, 9, 11, 1, 3月					秋葉区健康福祉課
	12	乳児家庭教育学習(ゆりかご学級)	家庭教育の重要性を学ぶ。保護者と地域が共に子育てをする大切さを知る。(仲間づくりの機会)	1	成人	5	午前	5, 6月					
	13	幼児期家庭教育学級(ほかほか学級)	子どもの心身の発達、自我の芽生えを理解し、子育ての不安や悩みを話し合う。(仲間づくりの機会)	2	成人	7	午前	9, 10, 2, 3月					
	14	児童期家庭教育学級(これから自分探しをするキミへ)	子どもの心と体の発達を理解し、同世代の子どもを持つ親同士の交流を図る。(仲間づくりの機会)	1	成人	4	午前	9, 10, 11月					
	15	子育てサロン(このゆびとまれ)	親子のつながれる居場所づくり、情報交換	22	総合	22	午前	通年					サポート(運営委員・活動協力員・読み聞かせ)
	16	家庭教育講演会	秋葉区幼稚園PTA連合会との共催による講演会	1	総合	1	午前	10月					秋葉区幼稚園PTA連合会
4. 青少年の生きる力を育む事業	17	チャレンジ あきは体験隊	子どもたちの様々な体験から、集団活動をつうじた課題解決能力を身につける機会とする。	1	少年	1	午前・午後・夜間	8月					
	18	秋葉区一斉クリーン作戦	地域・家族の協働による美化活動を行い、併せて青少年の健全育成を図る。	1	総合	1	午前	4月	○		○		区育成協, 小中学校, コミ協, 民間業者
	19	秋葉区青少年健全育成・人権啓発・安心安全社会推進大会	子どもたちの健全育成と人権を大切にすることを醸成し、住みよい地域の創造を図る。	1	総合	1	午後	11月	○		○		区育成協, 人権擁護委員会, 保護司会, 小中学校
	20	子ども「創造塾」	集団活動や体験教室により子ども達が自ら考え創造する力を育む。	7	総合	7	午前・午後	随時	○	○	○		各小・中学校, 薬科大, 地元ボランティアなど
	21	あきは自然観察会(夏休み編)	昆虫や植物などの観察から、自然への関心を深める機会とする。	1	少年	1	午前	7月					企画委員
	22	学習室解放事業	公民館研修室を学習室として、小学生, 中学生, 高校生, 大学生に開放する。	41	少年	41	午前・午後	7, 8月					

平成29年度事業計画(案)

新津地区公民館		Noの網掛けは新規事業です												
重点化	No	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	連 携				特記事項	
									学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)		
5. 高齢者の学習支援や社会参加を促進する事業	23	あきは自然観察会	にいつ丘陵などの植物を観察し、里山について学ぶとともに、参加者同士の交流を図り仲間づくりにつなげる。	2	総合	4	午前	5, 6, 7, 10, 11, 12月						企画委員
6. 現代的課題を探り、問題解決を支援する事業	24	茶の間の学校	少子・超高齢社会がもたらす不安と孤立を解消する「地域の茶の間」をテーマに、地域の居場所づくりやお互いさまの人間関係づくりを学ぶ。	1	総合	6	午前	8, 9, 10月			○			
	25	Akiha de 夜会	秋葉区に居住、又は勤務する若者の交流の場を設け、仲間づくりを図る機会とし、今後の独自の活動につなげる。	1	成人	4	夜間	10, 11月						企画委員
	26	シニアの健康塾	人との関わりをねらいとし、自分の体を知り、健康の再認識をはかり、これからの生きがいを見つける。	1	成人	5	午前	9, 10月						
7. その他	27	秋葉区芸能祭(おどりと民謡・古典芸能)	様々な芸能部門の成果発表の機会にするとともに、参加者、観覧者の交流を図る。(舞踊、民謡団体、古典芸能団体の発表会)	1	総合	1	午前・午後	6月						
	28	第11号「文芸あきは」発行	地域における文芸創作活動の活性化をはかるとともに、創造性豊かな潤いある心を養い、地域文化の向上を目指す。(7部門)	1	総合	1	—	5~11月						新津文芸協会
	29	秋葉区文芸区民大会	区民の文芸創作活動の発表の場を提供する。(文芸講演会、川柳、俳句、短歌の発表会の実施)	1	総合	4	午前・午後	10, 11月						新津文芸協会
	30	秋葉区成人式	新成人の門出を祝う。	1	成人	1	午後	5月						秋葉区地域課
	31	第11回秋葉区美術展覧会	区民の創作活動の発表の場所を提供する。	1	総合	9	午前・午後	11月						運営委員会
	32	あきは日本語教室連携事業(ボランティア養成・発表・地域交流・異文化理解)	公民館団体との共催により日本語指導ボランティアの養成や国際理解講座を行う。また、教室参加者と地域の国際交流を図る。	3	総合	3	午後	随時						公民館登録あきは日本語教室
	33	秋葉区囲碁・将棋大会	参加者の技術向上と囲碁・将棋の交流を図る。	1	総合	1	午前・午後	2月						大会実行委員会
合 計				112		156			10	8	14	0		

平成29年度事業計画(案)

資料3-2

小須戸地区公民館		Noの網掛けは新規事業です									連 携				特記事項
重点化	No.	事業名	事業の目的・主旨	開設数	対象	回数	時間帯	実施予定月	学校	地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会	活動協力員(人)			
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	にいがたボケ1スリッパ卓球大会	スリッパ卓球による新潟県大会	1	総合	1	午前・午後	3月			○	○	実行委員会・スポーツ振興会・スリッパ卓球ク		
	2	冬でも花いっぱい運動	花の植栽作業による地域団体の連携強化	2	総合	2	午前	10月～11月			○		小須戸コミ協・山の手コミ協		
	3	こすどクッキング教室	食育・料理の基本を学ぶ	2	総合	4	午前	7～11月			○		小須戸コミ協・食生活改善推進委員・楽陶会		
	4	初心者のフラダンス	穏やかな運動による健康増進と仲間作り	1	成人	4	夜間	5月～6月			○		小須戸コミ協		
	5	語り継ぐ小須戸の文化	地域の魅力を探訪して再発見する	1	成人	3	午前	6～10月			○	○	小須戸コミ協・山の手コミ協		
	6	世代間交流事業	祖父母と孫で伝統行事を学び共通の体験をする(門松づくり)	1	総合	1	午前	12月		○	○	○			
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する	7	新津南高校開放講座	土曜日開催、新津南高校で教諭による教養講座と実技指導	1	成人	5	午前	8～11月	○				新津南高校		
3. 家庭の教育力の向上を支援する事業	8	家庭教育講演会	園児・学童期の保護者を対象にした家庭教育講演会	1	成人	2	午前・午後	6～2月	○	○					
4. 青少年の生きる力を育む事業	9	こども「創造塾」	集団活動や体験教室により子どもたちが自ら考え創造する力を育む	3	青少年	4	午前	8～1月	○	○		○			
	10	ディキャンプ	長期の休みを利用した子どもの体験学習	1	青少年	1	午前	8月			○		○	山の手コミ協	
	11	子ども人権講演会	「いじめを絶対に許さない」学校づくりをめざした講演会	1	青少年	1	午後	6月	○	○				小須戸中学校	
	12	夏休み勉強部屋オアシス	小中高校生を対象とした夏休み期間中の勉強部屋	1	青少年	14	午前	7, 8月					○	小須戸まちづくりセンター	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	13	高齢者生きがい講座	生活に潤いと楽しみを感じてもらう行事を開催	2	高齢者	3	午後	9～11月			○			小須戸高齢者クラブ連合会	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	14	フラワーアレンジメント	花と緑の小須戸地域。花の歴史や花の文化について学ぶ	1	成人	3	午前	5～7月							
	15	プチ書道教室	筆字での書き方を学ぶ	1	成人	2	夜間	11～12月							
	16	絵手紙	下手でも誰かに喜んでほしい、そんな優しい気持ちを伝える	1	成人	3	午前	6～9月							
7. その他	17	体験！ニュースポーツ入門	三世代で様々なスポーツに挑戦	1	総合	4	午前・夜間	8月, 2月				○		スポーツ振興会・卓球クラブ	
	18	小須戸地区市民展	地域住民による作品展示	1	総合	2	午前・午後・夜間	10月	○		○	○		小須戸文化協会	
	19	小須戸地区芸能祭	地域住民による芸能発表会	1	総合	1	午前・午後	11月	○		○	○		小須戸文化協会	
	20	小須戸地区囲碁・将棋大会		1	総合	1	午前・午後	10月						小須戸囲碁将棋愛好会	
	21	こすど地区公民館報の発行	公民館や地域の明るい話題や情報を紹介	1	総合	12	午前	通年						公民館報編集委員	
合 計				26		73			6	5	9	—			